

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究に対して「●対象となる患者さん」に該当する方へ研究へのご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

非小細胞肺癌における複合免疫療法の後方視的検討

[研究責任者]

呼吸器内科医師 渡邊洋美

[研究の背景]

非小細胞肺癌の患者さんにアテゾリズマブ+ベバシズマブ+カルボプラチン+パクリタキセル併用療法が有効であることは知られており、EGFR 遺伝子陽性肺癌の患者さんにも有効であると言われていています。しかし、実臨床においては検討が少なく当院の患者さんにおいても効果があるかどうかを検討します。

[研究の目的]

アテゾリズマブ+ベバシズマブ+カルボプラチン+パクリタキセル併用療法の有効性が明らかになれば、今後の非小細胞肺癌患者さんの治療にお役立てできる可能性があります。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

肺癌の患者さんで、2020年3月1日から2023年3月31日の間に初回治療としてアテゾリズマブ+ベバシズマブ+カルボプラチン+パクリタキセル併用療法の治療を受けた方

● 研究期間

機関長許可日から西暦 2025 年 3 月 31 日

● 利用する検体、カルテ情報

試料：なし

カルテ等の情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、臨床病期）
- ② 血液所見（CBC、白血球分画、肝腎機能、腫瘍マーカー）
- ③ 病理学的所見（免疫組織学的所見・PD-L1 の発現率・EGFR 遺伝子変異）
- ④ 治療（投与薬剤）
- ⑤ 治療反応性・予後

⑥ 画像診断結果

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費は用いず実施されます。しかしこの研究における当院の研究者の利益相反^{*}については、当院の研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター
呼吸器内科 医師 渡邊洋美
電話 086-294-9911（病院代表）